

仙台市の歯科保健活動の概要

(平成 23 年度実績)

平成 2 4 年 7 月

仙台市健康福祉局

は じ め に

歯と口の健康づくりは、全身の健康を支えていく上で極めて重要であり、豊かな人生を送るための基盤となるものです。

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災は、想定をはるかに超える被害と影響をもたらしました。被災後の高齢者や要援護者への口腔ケアは、「誤嚥性肺炎から命を守るケア」ということでクローズアップされ、その重要性・必要性がますます高まりました。

震災 1 年余を経て、今後は市民の生活習慣や保健行動等の変化による口腔の健康状態の格差が懸念されています。

また、平成 23 年度は震災による施設の損壊などにより、各種歯科健診や健康づくり事業の実施時期・実施回数、受診率等にも少なからず影響がありましたので、各事業実施状況から、市民の歯科疾患有病状況や全国値との比較、推移など注視し、有効な歯と口の健康づくり対策を推進していく必要があります。

とりわけ、平成 23 年 3 月に策定した「第 2 期いきいき市民健康プラン」の重点戦略の一つ「生きる力を支える健康的な食生活と歯・口の健康づくり」では、「児童・思春期」世代を優先的に取り組む世代としております。

子どもたちの未来に向けて、保護者や地域住民とのつながりを一層広め、関係者の理解と連携のもと、歯の健康格差の解消に向けた取り組みを推進していくことが重要となります。

本書は、平成 23 年度の本市における歯科保健活動の概要をまとめ、全国データ等と比較できるようになっております。健康づくり支援の計画や実施の際の基礎資料としてご活用いただければ幸いです。

最後になりましたが、発災直後から国内外より様々な物資の提供をいただいたほか、全国から「命」、そして「健康」を守る多くの方々に駆けつけていただき、ご支援をいただきました。

避難所での生活を余儀なくされた方々への巡回口腔ケアでは、(社) 仙台歯科医師会を始めとする関係機関・団体・ボランティアの方にご協力をいただきながら連動・連携して、力を尽くしてまいりました。

多くの皆様からの温かいご支援に対しまして、心より御礼申し上げます。

平成 24 年 7 月

仙台市健康福祉局

目 次

1. 仙台市の概況（人口・世帯数・面積）	1
2. 歯科技術職員の配置状況等	1
3. ライフステージ別歯科保健事業	2
4. 歯科保健の概要・実績	
(1) 母子歯科保健活動	
① 妊婦歯科健康診査	3
② 母子健康手帳交付時歯科健康教育	4
③ 乳幼児歯科健康教育	5
④ 1歳6か月児歯科健康診査	5
⑤ 1歳6か月児歯科健康診査事後指導	6
⑥ 2歳6か月児歯科健康診査	7
⑦ 2歳6か月児歯科健康診査事後指導	7
⑧ 3歳児歯科健康診査	8
(2) 保育所・幼稚園における歯科保健活動支援	
① フッ化物洗口導入支援事業	9
② フッ化物洗口導入支援事業参加施設等に対する歯科健康教育	10
③ フッ化物洗口事業継続補助金交付事業（資料：子供未来局）	10
④ 保育所・幼稚園における歯科健康診査集約事業	10
(3) 学校歯科健診結果（資料：健康教育課）	12
(4) 成人歯科保健活動	
① 歯周疾患検診	13
② 20歳のデンタルケア	15
③ 健康教育事業・健康相談事業	16
(5) 障害児（者）歯科保健活動	
① 障害児（者）施設歯科保健教育	16
② 障害児（者）歯科診療事業（資料：（社）仙台歯科医師会）	16
③ 在宅歯科診療事業（資料：（社）仙台歯科医師会）	16
(6) 普及・啓発事業	
① 歯の衛生週間事業	17
② 歯周疾患予防推進懸垂幕の掲示	18
③ その他の啓発活動	18
(7) 被災された方への歯科保健活動	18
(8) 歯と口の健康づくりネットワーク会議	
① 構成	18
② 活動概要	18
参考資料1 第2期いきいき市民健康プラン「歯と口の健康づくり指標」	19
参考資料2 東日本大震災で被災された方への歯科保健活動について	20

1. 仙台市の概況

区	人 口			世帯数	面積
	総 数	男	女		
総 数	1,049,824	509,454	540,370	471,662	778
青 葉 区	295,194	142,130	153,064	146,980	301
うち 宮城総合支所	69,477	33,309	36,168	24,924	260
宮 城 野 区	188,658	92,616	96,042	85,465	62
若 林 区	131,011	64,508	66,503	59,160	50
太 白 区	222,361	107,779	114,582	93,314	230
うち 秋保総合支所	4,421	2,067	2,354	1,717	145
泉 区	212,600	102,421	110,179	86,743	145

(平成 24 年 4 月 1 日現在推計人口 仙台市市民局地域政策部広聴統計課)

2. 歯科技術職員の配置状況等

本市では、平成 8 年 4 月 1 日に機構改正を行い衛生局と民生局を統合して健康福祉局を設置したほか、保健所と区役所福祉部を統合し、区保健福祉センターとして区行政組織の中に組み入れた。

また、この後専門的、技術的拠点としての保健所機能を確保するため区保健福祉センターの機構改正を行なった。平成 18 年 4 月には子供未来局を設置し、健康福祉局の子育て部門を移管。二局の連携により歯科保健の推進の取り組みを進めている。

歯科技術職員の配置は以下のとおり。

区・局 (支所)	青葉区			宮城	宮城野区		若林区	太白区		秋保		泉区	健康福祉局	
	管理	家庭健康	障害高齢	保健福祉	管理	家庭健康	家庭健康	センター	家庭健康	支所	保健福祉	家庭健康	保健衛生部	健康増進
歯科医師		1	1		1	1	1	1(兼)	1*	1		1	1(兼)	
歯科衛生士	1	2	1	2	1	3	2		2		1*	2(1*)		1

・*印：嘱託歯科技術職員及び再任用歯科技術職員

平成 24 年 4 月 1 日現在

・秋保総合支所職員は秋保診療所業務を兼務

3. ライフステージ別歯科保健事業

対 象	歯科的特徴	歯科的課題	歯科保健対策			事業主管課
			主な事業	内 容	ねらい	
胎児期	歯の形成期	バランスのとれた 栄養摂取	妊婦歯科指導	健康教育	丈夫な歯をつくる 生活指導	子供未来局 子育て支援課
乳児期	乳前歯の萌出期	咀嚼器官の発達時期	4か月児 育児教室 離乳食教室	健康教育	乳歯う蝕予防 歯口清掃の動機づけ 健全な咀嚼の習得 支援	子供未来局 子育て支援課
幼児期 1～3歳	乳臼歯の萌出期 乳歯列の完成期	乳歯う蝕の発生期 (卒乳の遅れ・甘味の 不規則摂取) 乳歯う蝕の多発期 (甘味の過剰摂取・ 清掃不良等)	1歳6か月児 健康診査 事後指導 2歳6か月児 歯科健康診査 事後指導 3歳児健康診査	健康教育 健康診査 保健指導 う蝕活動 性試験	乳歯う蝕予防 生活習慣や歯口清掃 の確認と支援 乳歯う蝕、ハリスル 早期発見と支援 かかりつけ歯科医に よる継続管理の奨励 乳歯列不正咬合 のチェック	子供未来局 子育て支援課
4～5歳	永久歯の萌出 開始期 (第一大臼歯)	永久歯う蝕の発生期 咀嚼器官の発達 チェック時期	保育所・幼稚園 歯科健康診査 結果集約事業 フッ化物洗口導入 支援事業 フッ化物洗口事業 継続実施補助金 交付事業	健康教育 フッ化物 集団洗口 実施支援	幼児期後半の口腔内 の状況把握と保育所 幼稚園における歯科 保健活動の支援 永久歯のう蝕予防	健康福祉局 健康増進課 子供未来局 総務課 保育課 保育環境整備課 保育指導課
学童期 小学校 6歳～ 中学校 12歳～ 高校 15歳～	乳歯と永久歯の 交換期 永久歯列の完成期 歯周組織の過敏期	永久歯う蝕の発生期 歯列と歯の不調和の 発生期 永久歯う蝕の多発期 歯肉の炎症が始まる時期 永久歯う蝕が放置され やすい時期 歯周疾患の発生期	就学时健康診断 定期健康診断	健康教育 健康診断 保健指導	永久歯う蝕の 予防と治療 歯科保健思想 の普及・啓発 咬合の誘導 歯周疾患の予防	教育局 健康教育課
成人期 20歳～ (妊婦)	歯周組織の脆弱期	歯周疾患の急増期	妊婦歯科教育 妊婦歯科健康診査 20歳のデンタルケア	健康教育	歯周疾患の予防治療 歯科保健思想の 普及・啓発	子供未来局 子育て支援課
壮年期 40歳～	歯の喪失開始期	歯周疾患の急増期	歯周疾患検診 各種教室 出前(出張)講座 健康増進普及月間 地区歯科健康診査 元気応援教室 訪問歯科指導 訪問歯科治療	健康教育 健康診断 保健指導 健康相談	歯周疾患の徹底 歯科治療の奨励 口腔機能の回復 歯口清掃 (義歯の手入れ)	健康福祉局 健康増進課
老年期 65歳～ ねたきり	歯の喪失急増期	口腔機能の低下				健康福祉局 健康増進課 介護予防推進室 高齢企画課 保健医療課
障害(児) 者	歯の形成不全及び 唇顎口蓋裂等	広汎性う蝕発生 咀嚼・発音障害等	障害児者施設歯 科健康教育	健康診査 健康教育	歯科疾患の予防 歯口清掃	健康福祉局 障害者支援課
全年齢			歯の衛生週間行事 歯と口腔の健康 づくり月間 地区健康まつり 歯科広報活動	健康教育	歯科保健思想の 普及・啓発	健康福祉局 健康増進課

【平成 24 年度版】

4. 歯科保健の概要・実績

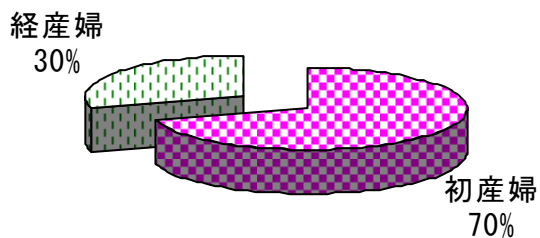
(1) 母子歯科保健活動

① 妊婦歯科健康診査

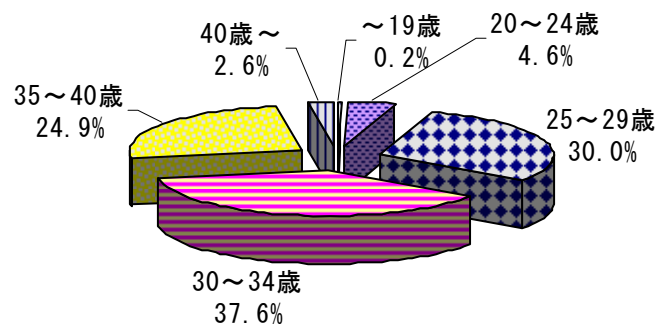
むし歯や歯周疾患が多発する傾向にある妊婦を対象として歯科健康診査、保健指導を実施している。

	合計	青葉		宮総	宮城野	若林	太白	太白		秋保	泉
		青葉	宮総					太白	秋保		
開設回数	89	27	17	10	11	10	29	16	13	12	
受診者数	970	247	178	69	189	116	245	232	13	173	
初産婦	683	177	129	48	132	89	158	153	5	127	
経産婦	287	70	49	21	57	27	87	79	8	46	

受診者の状況

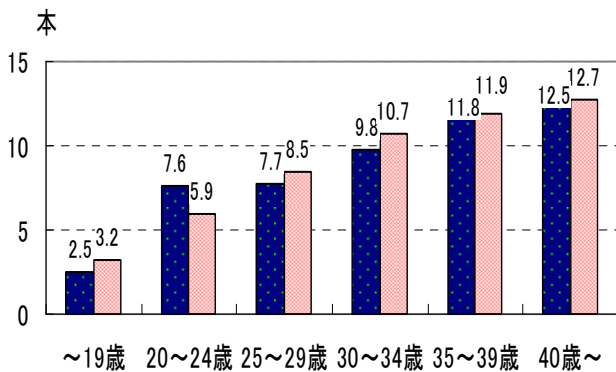


受診者数



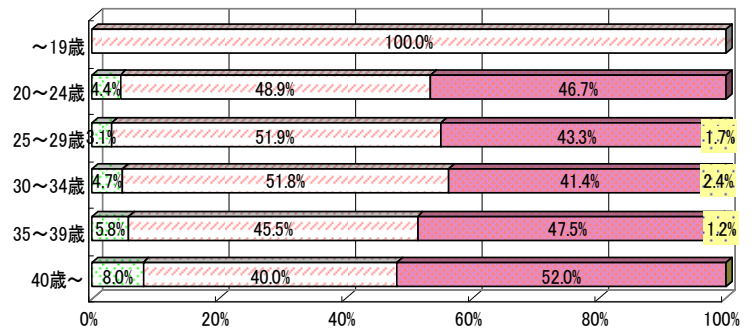
一人平均むし歯数

■ 仙台市 ■ 全国



歯肉の状態

□ CPI=0 □ CPI=1 □ CPI=2 □ 3以上

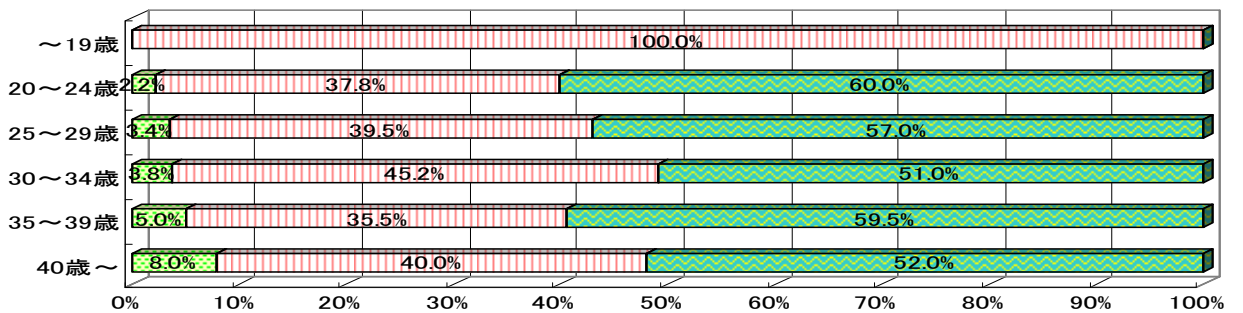


全国：平成23年度歯科疾患健診実態調査

判定区分

■ 異常なし □ 要指導 ■ 要医療・要精検

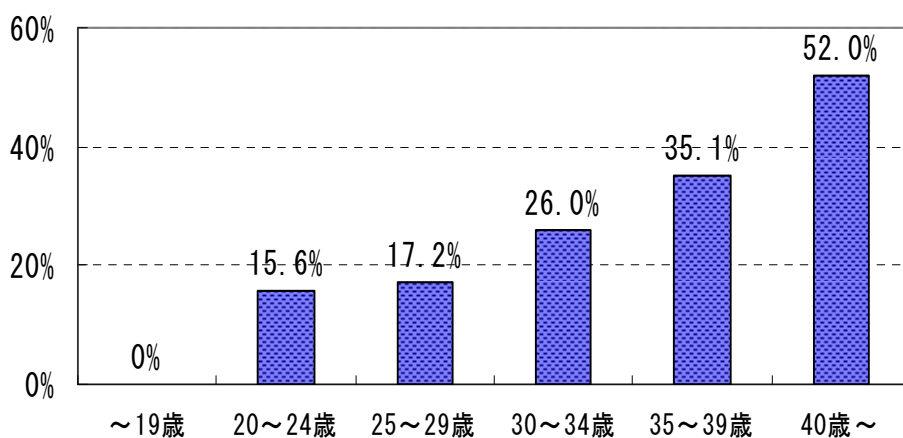
CPI=0 健全な歯肉
CPI=1 軽度な炎症あり
CPI=2 歯石沈着あり
CPI=3以上 進行した歯周炎あり



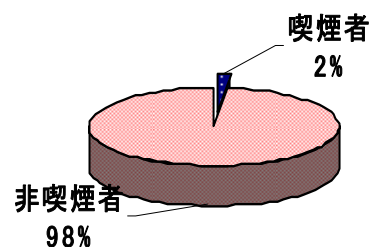
受診者数（~19歳）2名

【歯周疾患予防に効果的な保健行動】

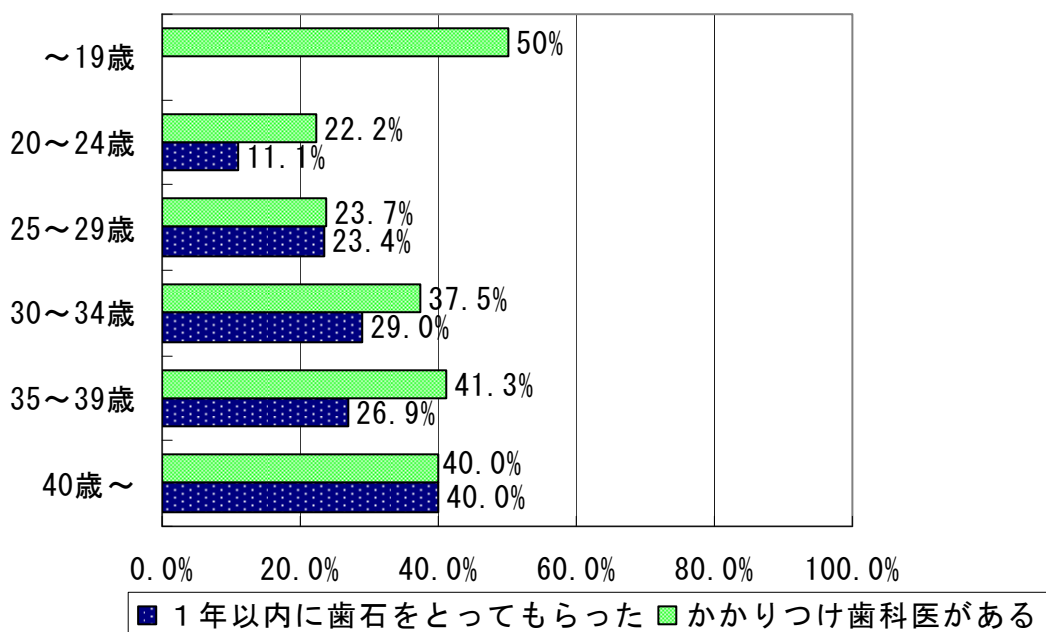
フロスや歯間ブラシを使用している



喫煙の有無



定期的に専門的ケアを受けている者



② 母子健康手帳交付時歯科健康教育

妊婦期の歯と口の健康のセルフケア能力の向上を支援するとともに、かかりつけ歯科医による定期的な専門的ケアを受ける習慣の定着を図るための健康教育を実施している。

	合計									
	青葉	青葉		宮城野	若林	太白	太白		泉	
		青葉	宮総				太白	秋保		
開設回数	83	32	20	12	23	11	17	-	17	-
受診者数	722	325	275	50	267	113	17	-	17	-

③ 乳幼児歯科健康教育

離乳食教室，育児グループ等において，歯科保健指導・健康教育・健康相談等を実施している。

	合計										
	開設回数	青葉			宮城野	若林	太白	太白		秋保	泉
		青葉	宮総	太白				秋保			
開設回数	165	25	16	9	24	43	34	26	8	39	
受診者数	2619	546	347	199	635	454	568	541	27	416	

④ 1歳6か月児歯科健康診査

母子保健法第12条に基づき実施している。

1歳6か月児歯科健康診査実施状況

受診率	93.8%
-----	-------

	対象人数	受診者	むし歯のない者				むし歯のある者				
			計	O1型	O2型	%	計	A型	B型	C型	有病者率
計	9,785	9,179	8,911	3,416	5,495	97.08	268	244	23	1	2.92
青葉	2,413	2,243	2,149	754	1,395	95.81	94	83	10	1	4.19
青葉	1,686	1,547	1,487	491	996	96.12	60	54	5	1	3.88
宮城	727	696	662	263	399	95.11	34	29	5	0	4.89
宮城野	2,152	1,997	1,937	773	1,164	97.00	60	58	2	0	3.00
若林	1,225	1,132	1,116	479	637	98.59	16	16	0	0	1.41
太白	2,117	2,017	1,974	718	1,256	97.87	43	38	5	0	2.13
太白	2,097	2,000	1,957	716	1,241	97.85	43	38	5	0	2.15
秋保	20	17	17	2	15	100.00	0	0	0	0	0.00
泉	1,878	1,790	1,735	692	1,043	96.93	55	49	6	0	3.07

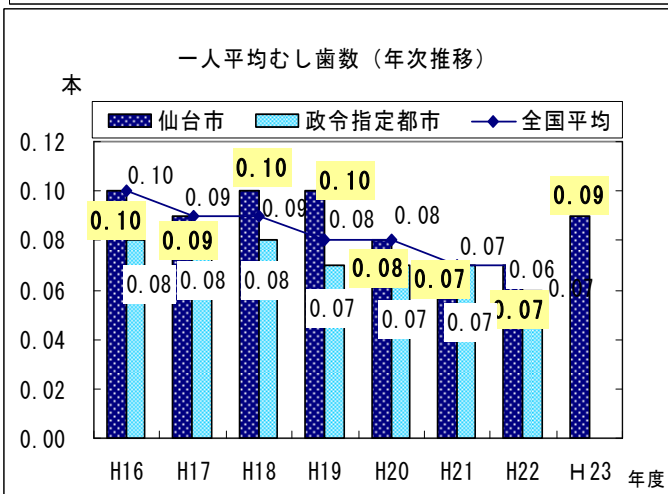
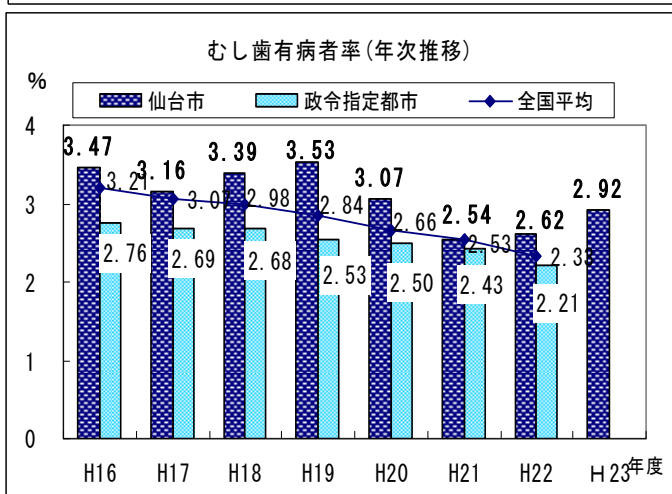
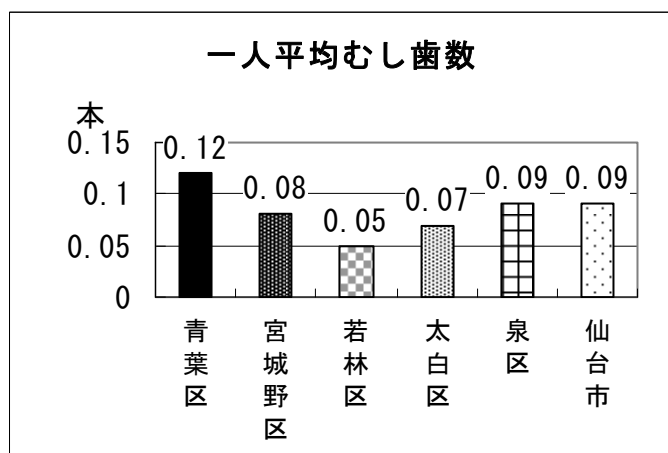
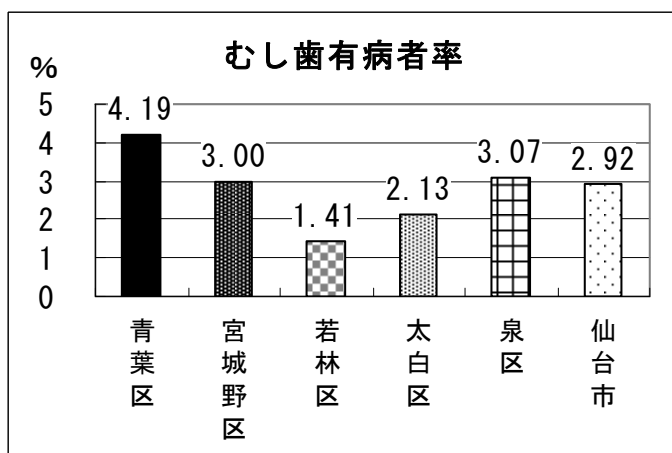
	むし歯の数					不正咬合のある者	口腔軟組織疾患のある者	その他の異常のある者
	計	処置数	未処置数	フッ化ジアミン銀	1人平均むし歯数			
計	794	26	713	55	0.09	578	192	789
青葉	277	5	268	4	0.12	170	18	200
青葉	179	2	173	4	0.12	111	10	132
宮城	98	3	95	0	0.14	59	8	68
宮城野	167	7	150	10	0.08	200	35	144
若林	53	1	46	6	0.05	32	34	114
太白	137	5	114	18	0.07	32	31	132
太白	137	5	114	18	0.07	32	31	132
秋保	0	0	0	0	0.00	0	0	0
泉	160	8	135	17	0.09	144	74	199

【参考】

むし歯のない者 O1:口腔環境の良い者 O2:口腔環境が悪く，むし歯になるおそれのある者

むし歯のある者 A:軽度 B:中程度 C:重度

1歳6か月児歯科健康診査



⑤ 1歳6か月児歯科健康診査事後指導

健康診査の結果，歯科疾患のある幼児及び近い将来罹患すると予想される幼児を対象として，1～2か月後に電話・文書（必要に応じて訪問）を実施し，望ましい歯科保健行動の実践と継続を支援する。多数のむし歯があるハイリスク児を対象に，保健師・栄養士等と連携し，総合的な視点で継続的に育児支援を行う。

1歳6か月児歯科健康診査事後指導実施状況

実施人数	青葉			宮城野	若林	太白			泉
	青葉	宮総	太白			秋保			
823	236	158	78	124	30	272	272	0	161

⑥ 2歳6か月児歯科健康診査

むし歯が急増する時期にある幼児を対象とした仙台市独自の事業。

むし歯のない者に対してむし歯の罹患傾向を予測する検査を行い、結果を個別通知する。

2歳6か月児歯科健康診査実施状況

受診率	88.0%
-----	-------

	対象人数	受診者	むし歯のない者				むし歯のある者				
			計	O1型	O2型	%	計	A型	B型	C型	有病者率
計	9,573	8,426	7,554	2,633	4,921	89.65	872	693	163	16	10.35
青葉	2,401	2,078	1,853	509	1,344	89.17	225	175	43	7	10.83
青葉	1,644	1,396	1,249	380	869	89.47	147	116	26	5	10.53
宮城	757	682	604	129	475	88.56	78	59	17	2	11.44
宮城野	2,054	1,765	1,595	650	945	90.37	170	135	33	2	9.63
若林	1,247	1,075	983	312	671	91.44	92	75	16	1	8.56
太白	2,013	1,855	1,651	512	1,139	89.00	204	171	31	2	11.00
太白	1,990	1,834	1,632	510	1,122	88.99	202	169	31	2	11.01
秋保	23	21	19	2	17	90.48	2	2	0	0	9.52
泉	1,858	1,653	1,472	650	822	89.05	181	137	40	4	10.95

	むし歯の数					不正咬合のある者	口腔軟組織疾患のある者	その他の異常のある者
	計	処置数	未処置数	フッ化ジアンミン銀	1人平均むし歯数			
計	2668	358	1949	361	0.32	677	116	886
青葉	706	99	538	69	0.34	170	14	222
青葉	453	39	353	61	0.32	103	5	147
宮城	253	60	185	8	0.37	67	9	75
宮城野	539	66	355	118	0.31	189	26	148
若林	288	40	206	42	0.27	53	32	119
太白	573	100	423	50	0.31	101	15	168
太白	567	100	417	50	0.31	98	15	168
秋保	6	0	6	0	0.29	3	0	0
泉	562	53	427	82	0.34	164	29	229

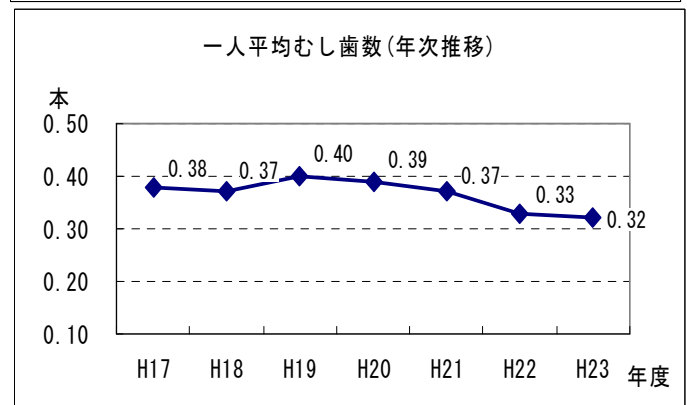
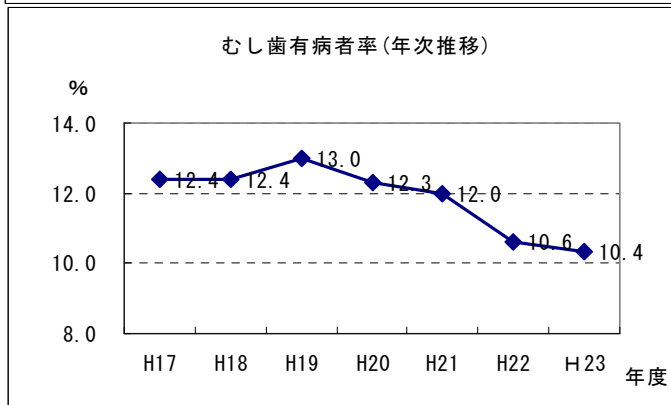
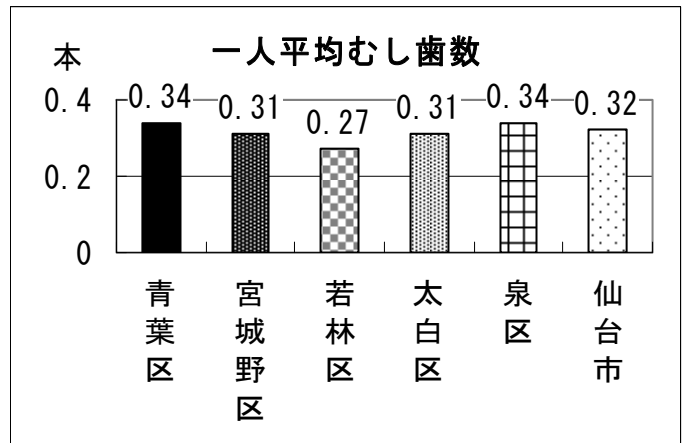
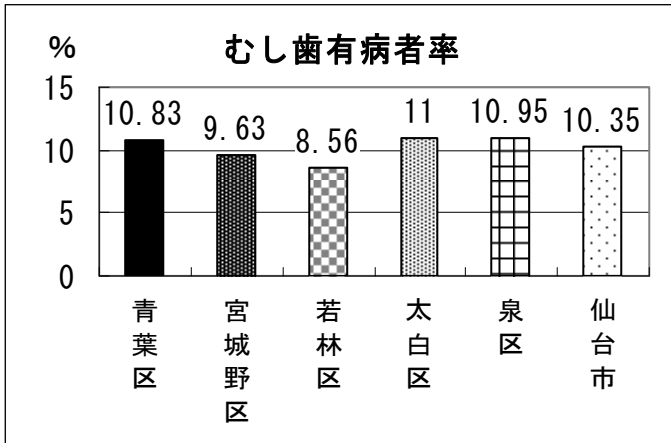
⑦ 2歳6か月児歯科健康診査事後指導

う蝕ハイリスク児を対象として、健診後1~2か月後に電話・文書等による保健指導を実施し、望ましい歯科保健行動の実践を支援するとともに「かかりつけ歯科医」による継続管理を目的とした受診を促す。多数のむし歯がある児に対しては、保健師・栄養士等と連携し総合的な視点で継続的に育児支援を行う。

2歳6か月児歯科健康診査事後指導実施状況

実施人数	青葉			宮城野	若林	太白			泉
	青葉	宮総	宮城			太白	秋保		
1343	378	258	120	277	206	143	142	1	339

2歳6か月児歯科健康診査



③3歳児歯科健康診査

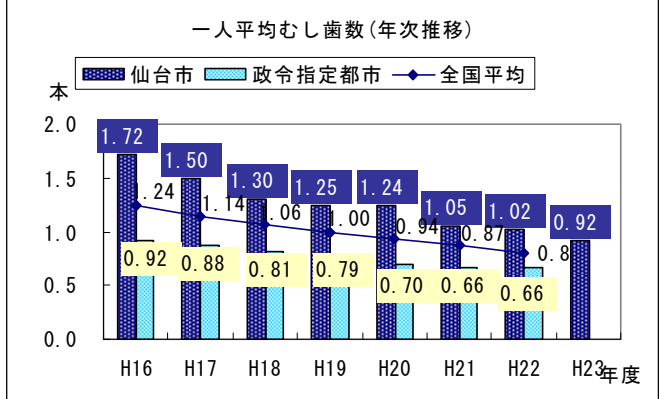
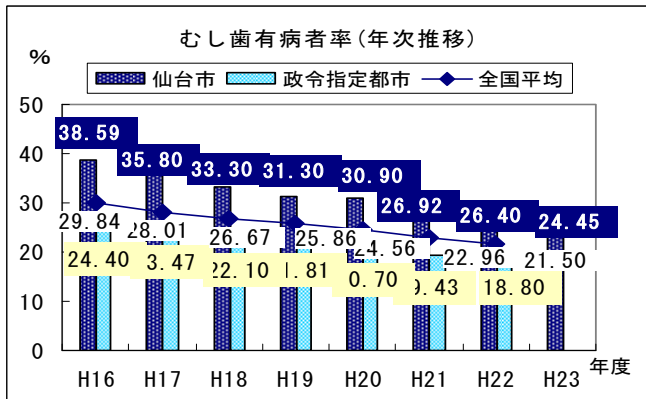
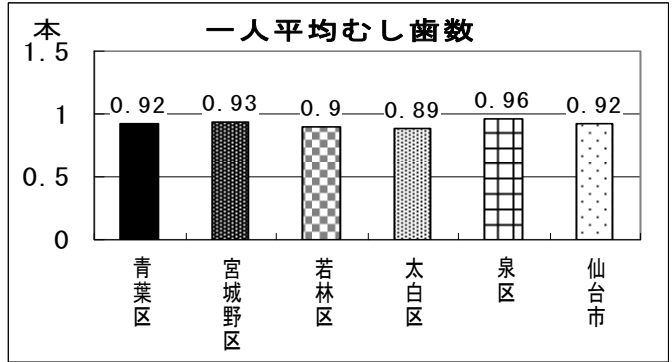
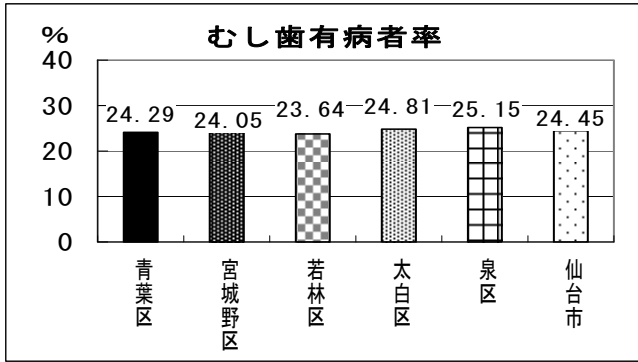
母子保健法第12条に基づいて実施し、従事する歯科医師は(社)仙台歯科医師会に委託している。

受診率 88.8%

	対象人数	受診者	むし歯のない者		むし歯のある者					むし歯の数				
			人数	%	計	A型	B型	C型	有病者率	計	処置数	未処置数	フッ化ジアミン	1人平均むし歯数
計	9,710	8,620	6,512	75.55	2,108	1,386	589	133	24.45	7,912	1,981	4,831	1,100	0.92
青葉	2,357	2,046	1,549	75.71	497	342	130	25	24.29	1,878	520	1,094	264	0.92
青葉	1,621	1,360	1,075	79.04	285	204	69	12	20.96	1036	310	537	189	0.76
宮城	736	686	474	69.10	212	138	61	13	30.90	842	210	557	75	1.23
宮城野	1,958	1,755	1,333	75.95	422	279	111	32	24.05	1624	217	1158	249	0.93
若林	1,220	1,083	827	76.36	256	170	73	13	23.64	973	182	639	152	0.90
太白	2,145	1,951	1,467	75.19	484	305	147	32	24.81	1,731	528	1,036	167	0.89
太白	2,121	1,927	1,449	75.19	478	301	146	31	24.81	1701	527	1007	167	0.88
秋保	24	24	18	75.00	6	4	1	1	25.00	30	1	29	0	1.25
泉	2,030	1,785	1,336	74.85	449	290	128	31	25.15	1706	534	904	268	0.96

	不正咬合の延数										口腔軟組織異常			その他の異常のある者
	計	a	b	c	d	e	f	g	h	計	L型	S型		
計	967	362	51	137	176	81	7	87	66	126	126	0	1,018	
青葉	212	88	10	23	43	13	0	17	18	31	31	0	220	
青葉	126	54	4	7	26	10	0	12	13	16	16	0	150	
宮城	86	34	6	16	17	3	0	5	5	15	15	0	70	
宮城野	189	69	16	32	23	15	3	18	13	23	23	0	206	
若林	105	34	3	17	27	9	2	6	7	16	16	0	91	
太白	254	93	14	45	43	24	1	20	14	28	28	0	219	
太白	253	93	13	45	43	24	1	20	14	28	28	0	218	
秋保	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
泉	207	78	8	20	40	20	1	26	14	28	28	0	282	

3歳児歯科健康診査



※仙台市受診対象：3歳7か月児

(2) 保育所・幼稚園における歯科保健活動支援

①フッ化物洗口導入支援事業

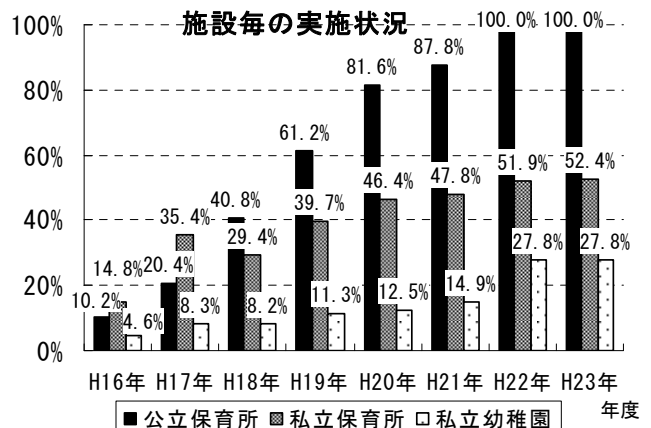
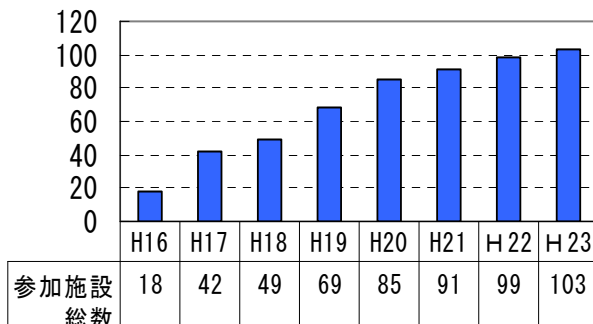
平成16年度より幼児期のむし歯予防を推進するため、フッ化物洗口実施を希望する市内保育所(園)・幼稚園が円滑に実施できるよう技術支援や必要物品の提供を行なう支援事業を実施している。

フッ化物洗口実施施設の内訳

(単位：施設)

	合計	青葉		宮総	宮城野	若林	太白		秋保	泉
		青葉	宮総				太白	秋保		
実施施設数	118	29	23	6	34	17	23	22	1	15
内訳	公立保育所	12	8	4	8	6	12	11	1	9
	私立保育所	45	11	10	1	16	9	6	0	3
	私立幼稚園	26	6	5	1	10	2	5	5	0
フッ化物洗口導入支援事業参加施設数	103	26	20	6	27	17	18	17	1	15

件 フッ化物洗口導入支援事業参加施設数



②フッ化物洗口導入支援事業参加施設等に対する歯科健康教育

フッ化物洗口導入支援事業参加施設に対し、円滑に洗口を開始できるよう支援するとともに、併せて子供のむし歯予防に関する啓発を行なっている。

	計	青葉		宮総	宮城野	若林	太白		泉
		青葉	宮総				太白	太白	
開設・訪問回数	139	30	23	7	41	9	36	36	23

③フッ化物洗口事業継続実施補助金

フッ化物洗口導入支援事業参加施設、または平成15年度以前からフッ化物洗口を実施している私立幼稚園、私立保育所、せんだい保育室を対象として平成23年度以降のフッ化物洗口継続実施にかかる費用の一部を助成している。

*補助金交付施設数

私立幼稚園	18
私立保育所	28
せんだい保育室	-

【資料：子供未来局（総務課，保育環境整備課，保育指導課）】

④保育所・幼稚園歯科健康診査集約事業

平成19年度より、保育所、幼稚園で実施している歯科健康診査基準を統一し、健診結果を一元的に集約・分析し、各施設に結果を提供するとともに歯科保健活動を継続支援している。

*歯科健康診査基準・・・「歯科健康診査ガイド Ⅱ 子供の生活習慣支援マニュアル 別冊」

仙台市トップページ>健康と福祉>健康・医療>せんだい・歯と口の健康づくりネット>歯と口の健康づくりマニュアル

URL <http://www.city.sendai.jp/kenkou/kenkouzoushin/ikiiki/manual/seikatuyuukan-b.pdf>

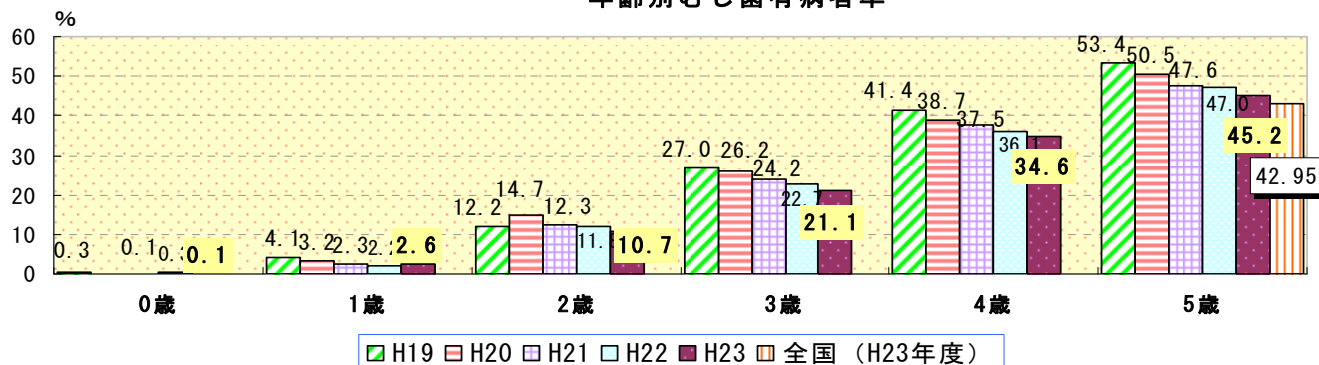
*集約した施設の内訳等

平成23年12月1日現在

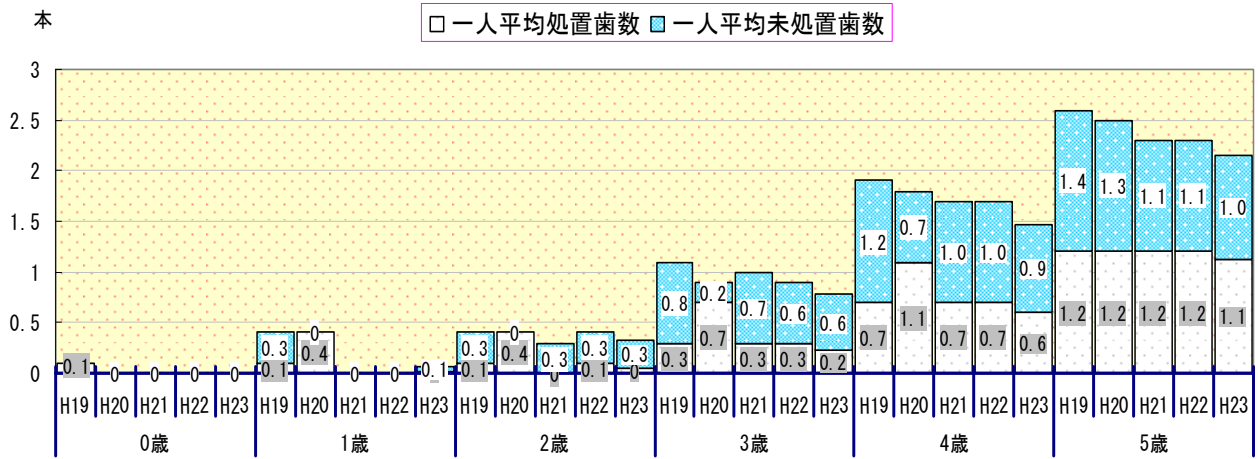
	依頼施設件数(件)	提出施設件数(件)	回収率	受診者数(人)							
				0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	
仙台市	幼稚園	91	73	80.2%	0	3	21	2,400	3,795	3,973	10,192
	保育所	132	129	97.7%	1,036	1,848	2,167	2,316	2,392	2,276	12,035
	私立	84	81	96.4%	735	1,225	1,353	1,444	1,416	1,330	7,503
	公立	48	48	100.0%	301	623	814	872	976	946	4,532
仙台市 合計	223	202	90.6%	1,036	1,851	2,188	4,716	6,187	6,249	22,227	

*年齢は平成23年4月1日現在

年齢別むし歯有病者率

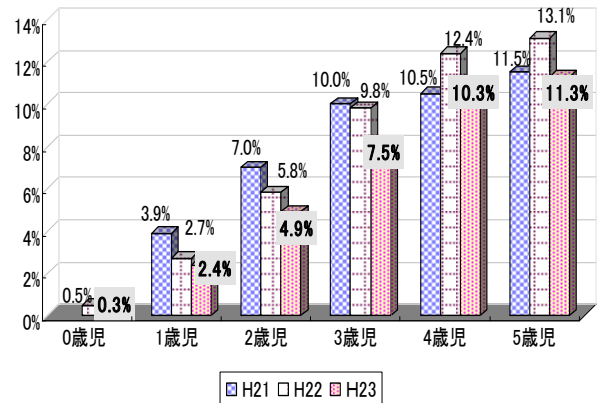
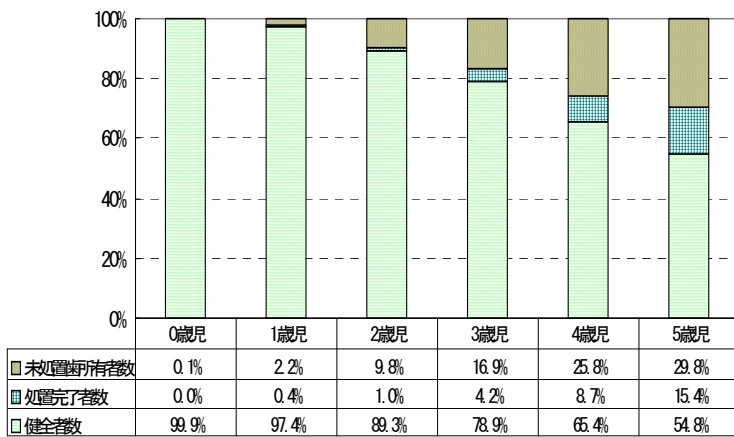


一人平均むし歯経験歯数

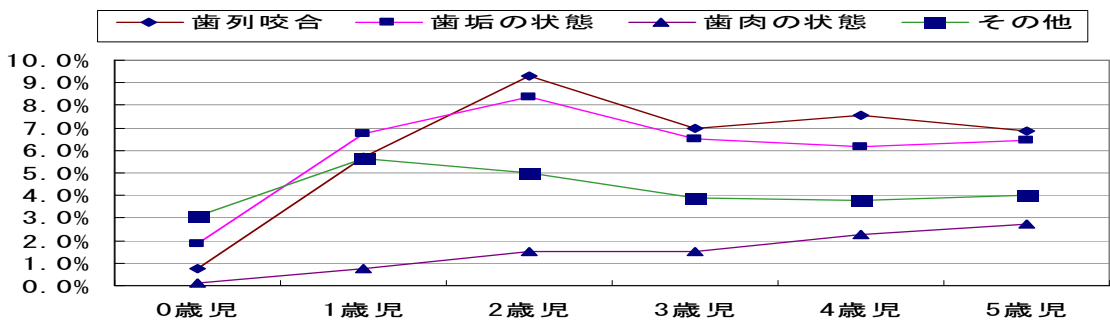


【健全者・処置完了者・未処置歯のある児】

【CO(むし歯の初期症状が疑われる歯)のある児】



【歯列・歯垢・歯肉・その他の異常のある児】



* 健診結果の集約・分析・還元と歯科保健活動支援

健診結果を集約、分析し、各施設に提供するとともに効果的な歯科保健教育が行なえるよう保育所・幼稚園を支援している。

併せて、仙台市ホームページ「せんだい・歯と口の健康づくりネット」において実施状況と結果を公表している。

施設数	青葉			宮城野	若林	太白	太白		秋保	泉
	青葉	宮総	宮総				太白			
210	50	36	14	43	32	51	51	0	34	

(4) 成人歯科保健活動

① 歯周疾患検診

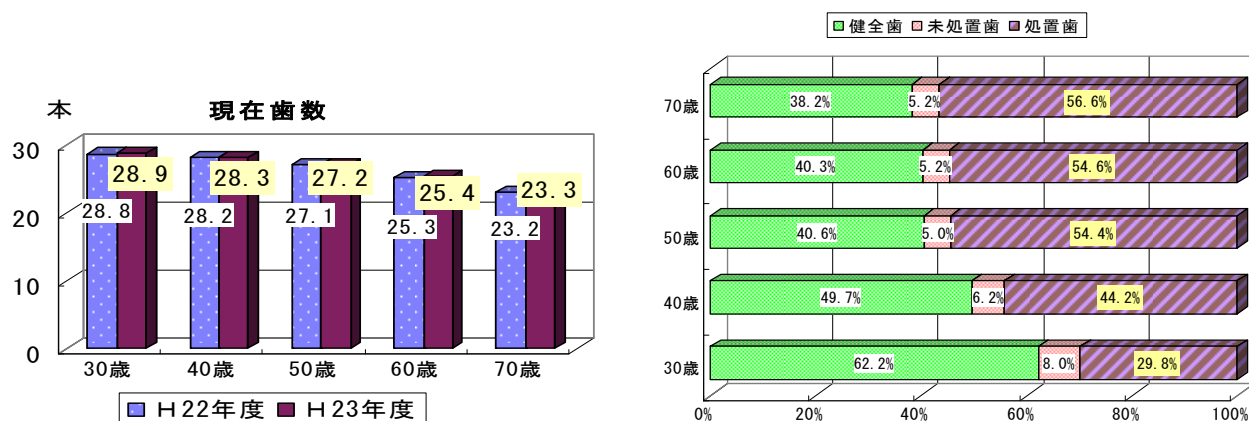
健康増進法 19 条の 2 に基づく健康診査の一環として、歯の喪失予防を目的として実施する。平成 17 年度より 40 歳・50 歳に加え、60 歳・70 歳の節目者も対象とした。

また、平成 19 年度からは仙台市独自に 30 歳の節目者も対象としている。

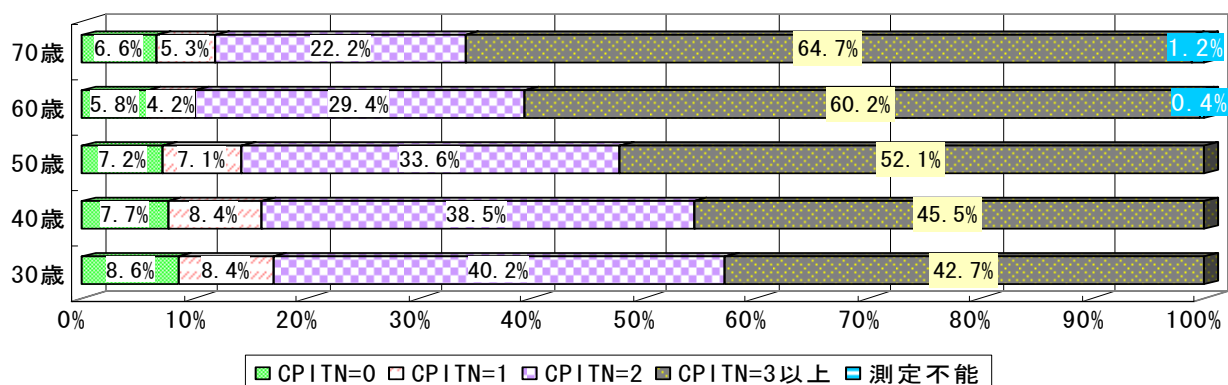
(社) 仙台歯科医師会に事業を委託している。

	対象者数	受診者数	受診率	判定区分					
				異常なし		要指導		要医療・要精検	
				人数	%	人数	%	人数	%
30歳	14,669	758	5.2%	38	5.0%	20	2.6%	700	92.3%
40歳	17,168	1,292	7.5%	61	4.7%	56	4.3%	1175	90.9%
50歳	12,831	1,130	8.8%	48	4.2%	34	3.0%	1048	92.7%
60歳	14,032	1,419	10.1%	50	3.5%	31	2.2%	1338	94.3%
70歳	11,223	2,063	18.4%	90	4.4%	50	2.4%	1923	93.2%

* 口腔内診査結果



歯肉の状況



* CPI (Community periodontal index) とは、地域における歯周疾患の状態と治療必要度を把握するためにWHOが提唱した指標

CPI 0 = 健全な歯肉

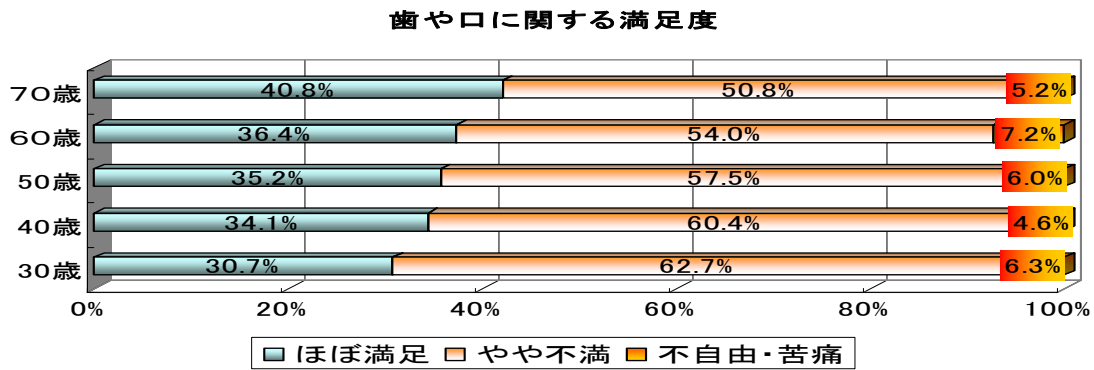
CPI 1 = 軽度な炎症あり

CPI 2 = 歯石沈着あり

CPI 3以上 = 進行した歯周炎あり

*** 問診結果**

【歯やお口についてどのように感じていますか】



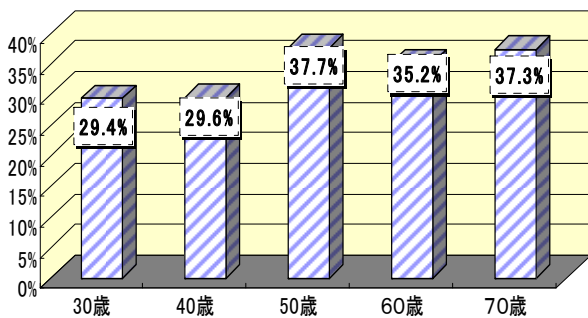
【気になる歯やお口の症状】

	30歳	40歳	50歳	60歳	70歳
歯が痛む	12.3%	9.4%	7.5%	7.7%	7.5%
歯がしみる	28.6%	26.5%	26.1%	24.1%	18.2%
歯ぐきから血がでる	24.3%	21.7%	21.5%	19.9%	12.6%
歯ぐきが腫れる	10.6%	11.2%	12.9%	14.9%	13.9%
歯間に食べ物がはさまる	40.9%	48.9%	54.6%	59.9%	57.1%
口臭が気になる	20.6%	24.1%	25.2%	24.5%	19.7%
口の中にできものがある	4.0%	3.7%	3.9%	3.9%	4.1%
入歯が合わない	0.1%	0.0%	1.0%	1.8%	4.5%
歯並びなど外観が気になる	18.7%	15.9%	11.8%	10.0%	7.2%
会話や食事に不自由を感じる	2.1%	1.8%	2.3%	3.7%	4.0%
その他	7.8%	7.3%	8.1%	6.1%	4.7%

※各年齢の回答：もっとも多い 2番目に多い 3番目に多い

【歯と口の健康づくりに係る保健行動】

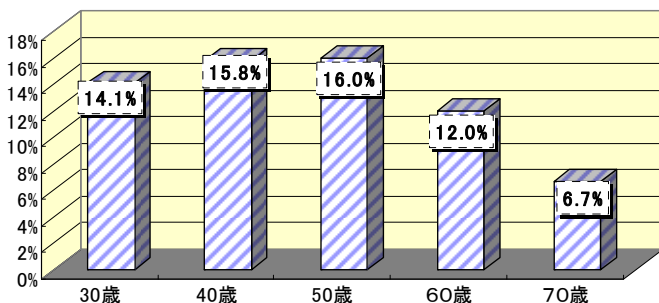
年に1年以上は、かかりつけ歯科医院で「定期健診」や「歯石除去」を受けている人



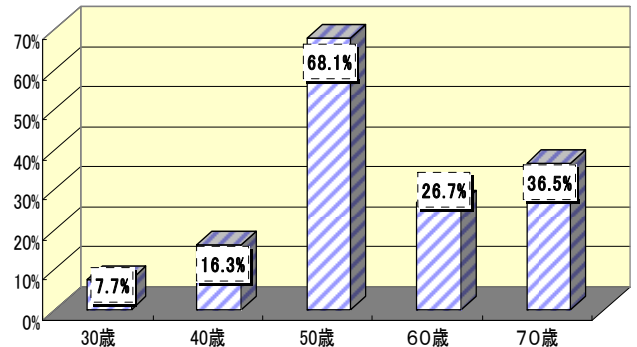
▶第2期いきいき市民健康プラン

目標値(H32年)50歳 55%

たばこを吸う人



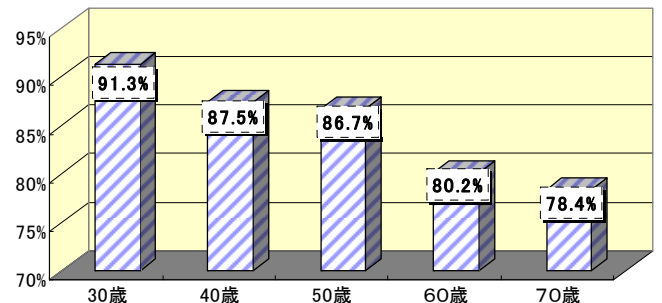
デンタルフロスや歯間ブラシを2日に1回以上使用する人



▶第2期いきいき市民健康プラン

目標値(H32年)40歳 50%, 50歳 50%

喫煙はお口の健康に悪影響を及ぼすと思う人



▶第2期いきいき市民健康プラン目標値(H32年)100%

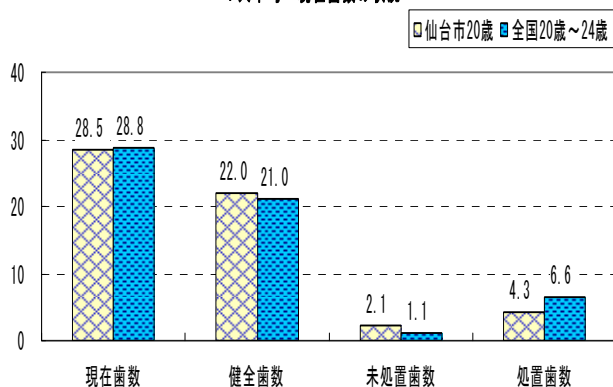
② 20歳のデンタルケア

20歳の市民を対象とした仙台市独自の事業で、平成15年度より開始している。

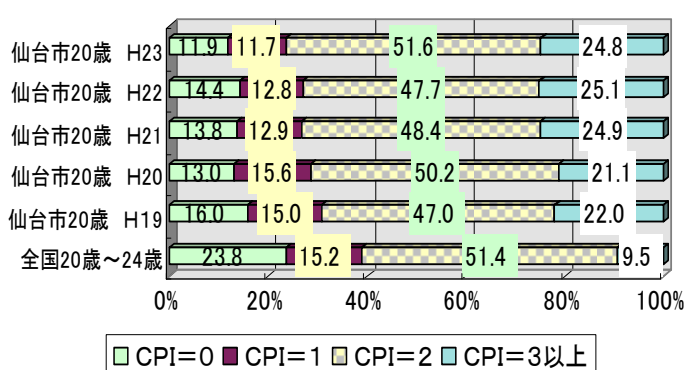
歯周疾患予防のためのセルフケア能力の向上の支援を行い、「かかりつけ歯科医」による継続管理を目的とした受診を普及啓発する。(社)仙台歯科医師会に事業を委託している。

	全市	青葉		宮城	宮城野	若林	太白		秋保	泉
		青葉	宮城				太白	秋保		
対象者	11,036	3,349	2,599	750	1,768	1,206	2,307	2,244	63	2,406
受診者	797	245	191	54	108	82	168	166	2	194
異常認めず	58	25	17	8	4	8	8	8	0	13
要指導者	36	12	9	3	2	3	9	9	0	10
要精検者	703	208	165	43	102	71	151	149	2	171
受診率	7.2	7.3	7.3	7.2	6.1	6.8	7.3	7.4	3.2	8.1

1人平均 現在歯数の状況

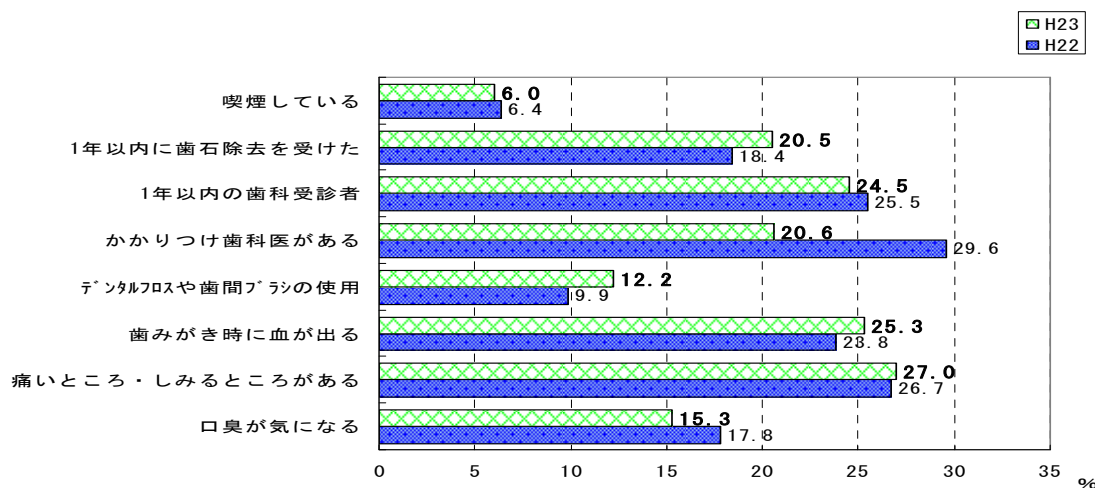


歯肉の状態



※全国：平成17年度「歯科疾患実態調査」

問診結果



③ 健康教育事業・健康相談事業

健康増進法第17条に基づく、成人に対する歯科保健指導・健康教育、個別の歯科健診・相談を実施している。

	計	青葉		宮城	宮城野	若林	太白		秋保	泉
		青葉	宮城				太白	秋保		
開設回数	58	2	1	1	18	15	7	1	6	16
参加者数	665	91	55	36	235	59	165	32	133	115

(5) 障害児（者）歯科保健活動

① 障害児（者）施設歯科保健教育

心身障害児通園施設に年2回の歯科健康診査・保健指導を実施している。

また、希望する障害者施設に歯科健康教育を実施している。

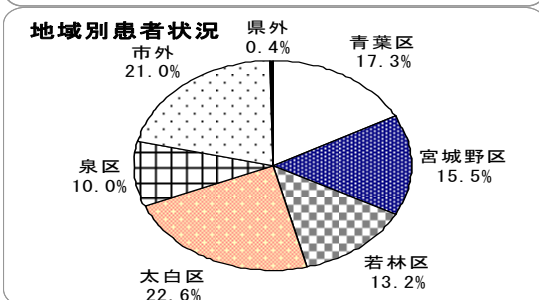
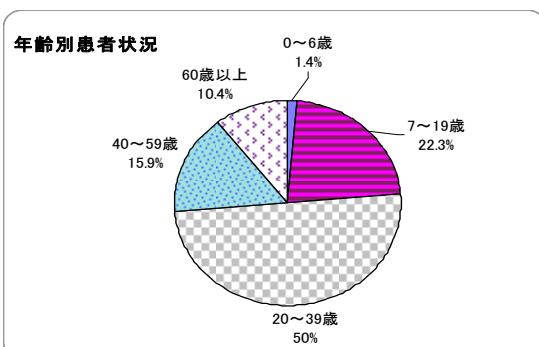
	計	青葉		宮城野	若林	太白	太白		泉
		青葉	宮城				太白	秋保	
開設回数	28	6	0	7	2	9	9	0	4
受診者数	482	82	0	180	31	137	137	0	52

② 障害児（者）歯科診療事業

休日夜間歯科診療所（福祉プラザ内）において、障害児（者）の歯科診療や訪問診療を行っている。（社）仙台歯科医師会に補助金を交付している。

障害者（児）歯科診療状況

項目		人数	
診療実人数 997名	性別	男	623
		女	374
	年齢別	0～6歳	14
		7～19歳	222
		20～39歳	498
		40～59歳	159
		60歳以上	104
	地域別	青葉区	172
		宮城野区	155
		若林区	132
		太白区	225
泉区		100	
市外 県外		209 4	



③ 在宅歯科診療事業

往診患者状況

項目		人数	
往診実人数 845名	性別	男	324
		女	521
	地域別	自宅患者数	276
		施設患者数	569
		青葉区	264
		宮城野区	146
		若林区	76
太白区	270		
泉区	89		

(6) 普及・啓発事業

資料：（社）仙台歯科医師会

① 歯の衛生週間事業

歯や口の健康に関する正しい知識の普及啓発と、生活習慣が全身の健康と歯科疾患に与える影響を知ることにより、歯の寿命を延ばし、市民の健康の保持増進に寄与することを目的に6月4日から10日まで開催している。

*各区の歯の衛生週間事業

	計	青葉		宮城野	若林	太白	太白		泉	
		青葉	宮城				太白	秋保		
参加者数	2048	326	173	153	61	680	668	460	208	313

－実施内容－

- ・歯科健康相談 ・歯科健康教室 ・講演会，研修会 ・パネル展示 ・懸垂幕掲示
- ・市政だより掲載 ・区役所庁内放送・フッ化物応用体験教室や普及啓発など

*** 歯と口の健康づくり・市民のつどい**

昭和 60 年より（社）仙台歯科医師会との共催で，絵画コンクール表彰式・講演会・歯科相談などを実施してきたが，平成 11 年度より実施主体を現在の実行委員会体制とし，平成 13 年度より「宮城・仙台口腔保健センター」を会場に開催している。平成 23 年度は，東日本大震災の影響で中止とした。

歯と口の健康づくり 市民のつどい実行委員会

仙台市、(社)仙台歯科医師会、仙台市教育委員会、仙台市私立幼稚園連合会、(社)宮城県歯科技工士会、(社)宮城県栄養士会、宮城県歯科衛生士会、宮城高等歯科衛生士学院、東北大学大学院歯学研究科

② 歯周疾患予防推進懸垂幕の掲示

歯周疾患検診受診期間にあわせて、市役所庁舎に歯周疾患予防推進懸垂幕を掲示している。

ふせごう 歯周病！ つくろう いい笑顔

③ その他の啓発活動

- ・歯と口腔の健康づくり月間，健康増進普及月間，地域健康まつりなどに合わせてパネル展や歯科相談などを行なっている。

	計	青葉		宮城野	若林	太白			泉	
		青葉	宮城			太白	秋保			
参加者数	4,651	2,971	2531	440	82	1,037	19	19	0	542

- ・仙台市ホームページ「せんだい・歯と口の健康づくりネット」や各区ホームページに歯科保健啓発媒体や統計情報を掲載し，広く発信している。

(7) 東日本大震災で被災された方への歯科保健活動（詳細 P20）

① 避難所における巡回口腔ケア指導

全国からの支援により，震災後 7 日目までに歯ブラシや義歯洗浄剤等の清掃用具を確保し，避難所を巡回，配付するとともに誤嚥性肺炎予防啓発と口腔ケア指導を行った。

避難所が閉鎖する 7 月まで，歯科健康教育や歯科相談等継続して実施した。

避難所数	計	3月	4月	5月	6月	7月	
		105	65	28	8	3	1
被指導延人数	集団指導	12863	12292	327	200	44	0
	個別指導	1439	852	496	66	12	13
従事者数延人数	・仙台歯科医師会103人 ・宮城県歯科衛生士会25人 ・保健福祉センター歯科医師14人，歯科衛生士63人 ・ボランティア歯科医師等21人						

②応急仮設住宅等に入居されている方への歯科保健相談・歯科健康教育・歯科疾患予防啓発
 プレハブ仮設住宅の集会所や地域の市民センター等で健康相談会や健康講座を開催している。
 また、保健福祉センターで作成した健康情報誌を戸別配付する際に、入居者の歯科保健状況の把握と相談に応じている。

	計	青葉	宮城野	若林	太白	泉	本庁
開催回数	51	6	8	23	11	3	1
参加者数	11,791	47	80	308	3,345	11	8,000

③家庭、保育所、幼稚園・学校等への歯の健康づくり啓発・巡回歯科健康教育

震災後の歯科疾患のリスクとエビデンスに基づく予防方法を新聞折込み誌に掲載し、各家庭に配布した。また、保育所・幼稚園等を巡回し、健康的な生活習慣を取り戻すこととフッ化物洗口実施への支援を行った。

	計	青葉 (宮城)	全市
対象		保育所・幼稚園・児童館	各世帯
配付数	456,903	6,903 (875)	450,000

(8) 歯と口の健康づくりネットワーク会議

「いきいき市民プラン」の重点分野である「歯と口の健康づくり」を効果的に推進するために、保健・医療・福祉・教育や職域の関係団体で構成し、それぞれの立場から市民の歯と口の健康づくり活動を支え、全身の健康を増進していくことを目的に平成15年に設置した。

むし歯予防部会、歯周病予防部会、口腔機能向上部会等において、市民のライフステージに応じた歯と口の健康づくりの具体策の検討や取り組みの評価を行ってきた。

平成23年度は、震災後の本市の状況と歯科保健活動等について確認するとともに、「第2期いきいき市民健康プラン」を確実に推進するための行動計画「仙台市・歯と口の健康づくり計画」「仙台市・歯と口の健康づくりアクションプラン」を策定し、優先して取り組む世代「児童・思春期世代」の歯科保健課題の共有と具体策の検討を行った。

① 構成

(社) 仙台市医師会 (社) 仙台歯科医師会 (社) 仙台市薬剤師会 仙台市教育委員会
 仙台市私立幼稚園連合会 仙台市保育所連合会 宮城県歯科衛生士会 仙台市PTA協議会
 宮城産業保健推進センター 東北大学大学院歯学研究科 仙台市

② 協議内容

歯と口の健康づくりネットワーク会議 7月25日開催	(1) 東日本大震災における保健医療活動 (2) 「第2期いきいき市民健康プラン」の策定 (3) 仙台市・歯と口の健康づくり計画(案) (4) 仙台市・歯と口の健康づくりアクションプラン(案)
むし歯予防推進部会 11月24日開催	(1) 「仙台市・歯と口の健康づくり実施計画」及び「仙台市・歯と口の健康づくりアクションプラン」の策定 (2) 平成23年度保育所・幼稚園歯科健康診査結果及び「フッ化物洗口実施状況」について (3) 「児童・思春期世代」の歯科保健の現状について ① 歯科疾患の有病状況と歯科保健行動について ② 学校歯科保健活動状況について ③ 児童・思春期世代の歯と口の健康づくり取り組みの方向性

参考資料1：第2期いきいき市民健康プラン「歯と口の健康づくり指標」

メインターゲット▶ 児童・思春期世代

No.	分類	重点分野3 (歯・口の健康づくり) 14項目	解説	市現況値 (H21)	市目標値 (H32)	市現況値出典	(参考) 値				
							中間実績値 (H17)	目標値 (H22)	出典		
42	健康	むし歯のない幼児の増加	健診においてむし歯がない幼児の割合				変更 (No.53)			「健康日本21」 中間評価報告書	
		3歳		73.1%	85%	3歳児歯科健診		68.7%	80%以上		
		5歳		52.4%	75%	保育所・幼稚園歯科健診	<追加>	-	-		
43	健康	一人平均むし歯数の減少(12歳)	一人当たりのむし歯の平均本数	1.5歯	0.8歯	学校定期健康診断	継続 (No.54)	1.9歯	1歯以下	「健康日本21」 中間評価報告書	
44	健康	進行した歯周炎の減少	進行した歯肉内炎の人の割合				継続 (No.55)				
				40歳	44.8%	36%		歯周疾患検診	26.6%		22%以下
		50歳	54.9%	43%	歯周疾患検診	42.2%	33%以下				
45	健康	80歳で20歯以上、60歳で24歯以上の自分の歯を有する人の増加	80歳で20歯以上、60歳で24歯以上の自分の歯を有する人の割合				継続 (No.56)				
		80歳(75~84歳)で20歯以上		46.5%	55%	8020調査		25.0%	20%以上		
		60歳(55~64歳)で24歯以上		75.7%	83%	歯周疾患検診		60.2%	50%以上		
46	健康	学齢期の歯肉の状態異常者の減少(12歳)	歯肉の異常のあるものの割合	29.1%	10%	学校定期健康診断	継続 (No.57)	-	-		
47	行動	フッ化物歯面塗布を受けたことのある幼児の増加(3歳)	フッ化物歯面塗布を受けたことのある幼児の割合	36.1%	50%	3歳児歯科健診	継続 (No.59)	37.8%	50%以上	「健康日本21」 中間評価報告書	
48	行動	間食として甘い食品・飲料を頻回飲食する習慣のある幼児の減少(1歳)	「1日3回以上」の割合	3.0%	減少	1歳6か月児歯科健康診査	継続 (No.60)	22.6%	15%以下		
49	行動	フッ化物配合歯磨剤の使用の増加(小学3年)	フッ化物配合歯磨剤を使用する人の割合	84.2%	90%	学校歯科保健関連調査	継続 (No.61)	52.5%	90%以上		
50	行動	個別的な歯口清掃指導を受ける人の増加(過去1年間に受けたことのある人、高校3年)	1年以内に歯みがき指導を受けた人の割合	28.4%	35%	学校歯科保健関連調査	継続 (No.62)	16.5%	30%以上		
51	行動	歯間部清掃器具の使用の増加	歯間ブラシやデンタルフロスを2日に1回以上使用する人の割合				継続 (No.63)				
		40歳		*1[13.3%]	50%	歯周疾患検診		39.0%	50%以上		
		50歳		*1[18.1%]	50%	歯周疾患検診		40.8%	50%以上		
52	行動	かかりつけ歯科医院で「定期健診」や「歯石除去」を受ける人の増加(50歳)	年1回以上はかかりつけ歯科医院で定期健診または歯石除去を受ける人の割合				変更 (No.64) (No.65) (No.66)				
					*2[34.9%]						
					*3[14.3%]	55%		歯周疾患検診			
					*4[52.1%]						
53	行動	むし歯を病気と認識している人の増加(中学1年)	「むし歯は病気だと思う」人の割合	59.8%	100%	学校歯科保健関連調査	継続 (No.67)	-	-		
54	環境	フッ化物洗口を行っている施設(保育所・幼稚園)の増加	フッ化物洗口を行っている施設の割合	50.3%	70%	保育所・幼稚園歯科健診集約事業	新規	-	-		
55	環境	CO・GOのある児童・生徒へ保健指導、健康教育を実施する学校の増加	CO・GOのある児童・生徒へ保健指導、健康教育を実施する学校の割合				変更 (No.68)				
		小学校		*5[20.0%]	100%	学校歯科保健関連調査		-	-		
		中学校		*5[20.4%]	100%	学校歯科保健関連調査		-	-		

○健康指標：有病状況など、市民の健康状態を表す統計的な指標

○行動指標：生活習慣やその改善に向けた活動など、個々人の健康的な生活に必要な意識や行動を表す指標

○環境指標：施設体制整備など、個々人の健康づくりを社会的に支援する環境を表す指標

1. 地震の概要

- ・発生時刻
平成23年3月11日(金)14時46分
- ・規模 マグニチュード9.0
- ・市内震度 震度6強 宮城野区,
震度6弱 青葉区, 若林区, 泉区
震度5弱 太白区
- ・津波 14時49分大津波警報発令
仙台港 7.2m(推測値)
(4/7, 4/11, 7/10にも, M7を超える余震が発生)

2. 被害の状況

- ・津波浸水区域 4,540ha(仙台市の約6%)
- ・人的被害
死者: 市内で死亡が確認された方 863名
仙台市民の方 944名
(市外で死亡が確認された方 174名含む)
行方不明者: 31名
(うち, 死亡届提出が確認された方 29名)
負傷者: 重傷 275名
軽傷 1,994名
- ・建物被害(平成24年5月27日時点)
全壊: 29,817棟
大規模半壊: 26,651棟
半壊: 81,192棟
一部損壊: 115,571棟
- ・歯科診療所の被害
全壊 8カ所(全壊7, 流失1)
半壊 53カ所(大規模半壊3, 半壊49,
水浸・水損1)
一部損壊 1カ所
- ・歯科診療所の再開状況(歯科医師会員)
3月25日 338ヶ所
4月13日 437ヶ所

3. 被害の特徴

- ・東部沿岸地域における津波被害
宮城野区 若林区



児童240人が屋上で助かった荒浜小学校

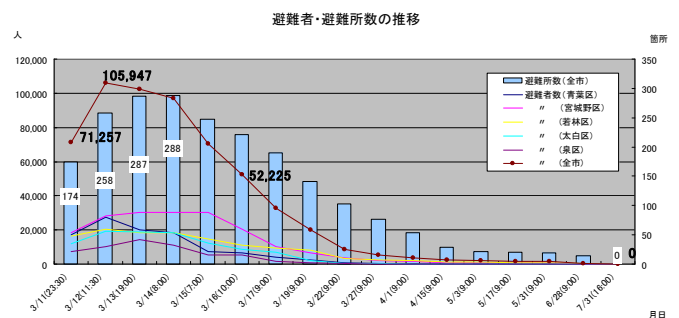
- ・丘陵部地域における宅地被害
青葉区 太白区 泉区



地すべりを起こした住宅地

4. 避難者の状況

- ・地震発生翌日に, 人口の10分の1に当たる約10万6000人が避難所で過された。避難所数は最大で288カ所設置された。
- ・交通機関やライフラインの復旧と共に, 避難者・避難所は徐々に減少し, 5月頃より仮設住宅等への移動も進み, 7月31日に全避難所が閉鎖した



5. 応急仮設住宅への入居状況

仮設住宅の種類	入居世帯数
プレハブ仮設住宅 18ヶ所	1,498
公務員住宅等	799
借り上げ民間賃貸住宅	10,171
計	12,468

(平成 24 年 5 月末現在)

※借り上げ民間賃貸住宅入居者が、仮設住宅入居者全体の約 8 割を占める。

6. 歯科保健活動

○3月11日 (東日本大震災 当日)

電気・水道・ガス等のライフラインが途絶し、情報網や交通網が寸断した。各区保健福祉センター職員が避難所開設、運営に携わり、要支援者に対する緊急対応等を実施したが、電話・Fax が不通のため、避難所の状況は把握できなかった。

○3月12-18日 (大震災翌日～1週間)

3月12日朝、歯科医師会との連絡を開始し、会員被災状況、診療所再開情報の共有を図ることとなった。

避難直後の歯科的ニーズは、口腔清掃や義歯清掃などに集中していた。燃料不足等により物流は停止し、食糧確保も難しい時期であった。特に、避難生活の長期化が予想された沿岸部の避難所では、口腔清掃用具(歯ブラシ、義歯ブラシ、洗口液)の不足が確認された。

全国からの支援により、震災後7日目までに口腔清掃用具を確保し、避難住民への配布と巡回口腔ケア指導を開始した。

- ・大人用歯ブラシ 80,000 本
- ・子供用歯ブラシ 8,000 本
- ・義歯洗浄剤 1,600 箱
- ・義歯安定剤 2,000 箱
- ・デンタルリンス 250 本 他

同時期、避難所での口腔ケアの重要性をプレスリリース(3/18)としてまとめ、ラジオや携帯サイト等を通じて情報発信するとともに、住民への個別支援にあたる保健師等専門職に対しても、歯科的需要を把握するための協力を呼びかけた。

○3月15日(震災後5日目)～4月15日

仙台歯科医師会より、連日診療所再開状況の情報提供があり、医療が必要な被災者へ稼動している医療機関の情報提供を行うことができた。ライフラインの普及に伴い、歯科医院は徐々に再開し、3/25(震災後15日目)には7割、4/13(震災後1か月)には8割を超えていた。

また、仙台市福祉プラザにおいて、障害者歯科診療所の対応を開始した。

○3月19-31日(震災後3週間程度)

■避難所における巡回口腔ケア活動の開始

仙台歯科医師会及び宮城県歯科衛生士会の巡回口腔ケアチーム、各区の歯科医師・歯科衛生士のチーム、ボランティア歯科医師等が、各避難所を巡回し、口腔清掃用具の配付とともに、口腔ケア指導を実施した。

-被災者の状況と指導内容-

- ・口内炎や義歯不適合等を訴える方への応急対応と口腔ケア指導
- ・歯科診療所の再開状況の情報提供とともに、医療を必要とする方への受診勧奨

○4月1日-5月10日(震災後2か月頃迄)

津波被害が甚大であった若林区・宮城野区の避難所を中心に口腔内チェック・口腔ケア等の活動を実施した。

-被災者の状況と指導内容-

- ・水道の使用が可能となった頃から、口腔内は比較的良好である旨の報告が多く挙がる。
- ・食生活を含む環境等の変化から、子どもの

むし歯や成人の歯周病のリスクが高まり、今後の口腔保健の悪化が懸念されたため、健康教育や健康相談等も継続実施した。

〇5月11日-7月末頃まで

乳幼児や学童など、避難所に長期滞在するものは少なく、成人は自宅等の片付けに戻ったり仕事に出掛けるなど、日中の避難所における歯科需要の多くは、高齢者であった。

避難所の巡回口腔ケア活動を継続しながらも幼児健診（4月下旬～5月より再開）を始めとする各種保健事業の場で、子どものむし歯や成人の歯周病予防対策を強化した。また、地域保健活動として6月の歯の衛生週間には保育所や幼稚園を巡回し、健康的な生活習慣を取り戻すことに係る啓発やフッ化物洗口実施への支援等を行った。

避難所における巡回口腔ケア指導実績							
	3月	4月	5月	6月	7月	合計	
実施避難所数	65	28	8	3	1	105	
口腔ケア指導を受けた人	(集団)	12,292	327	200	44	0	12,863
	(個人)	852	496	66	12	13	1,439

【従事者数（延）】

- ・山台歯科医師会及び宮城県歯科衛生士会：仙歯会103人、宮衛会25人
- ・保健福祉センター：歯科医師14人、歯科衛生士63人、
- ・ボランティア歯科医師等：歯科医師21人

震災後に急増 肺炎予防は口腔ケアで

震災後の生活では

- 偏った食生活での体力低下
- 歯みがきやうがいなどの口腔清掃不足
- ストレスの増加

などがあげられます。

そうすると、むし歯・歯周病の悪化や、口内炎・口臭のトラブルが生じやすくなります。

また、お口が不潔になると、細菌による気管支炎や肺炎などの病気にもなります。

特に高齢の方は、誤嚥性肺炎が増える危険性がありますので注意が必要です。

お口の清潔が肺炎予防に役立ちます。

☆ いていねいな歯みがきでお口のバイキンを減らしましょう。

☆ 気分になるところは、お近くの歯科医院で相談しましょう。

また、歯科治療を中断している方は、早めに受診しましょう。

☆ お口の体操で、口やのどの働きが弱らないようにしましょう。

(太白区「からだ・健康応援団」7～3月延3,330世帯へ戸別配布)

〇8月～平成24年3月

■避難所における巡回口腔ケア活動の開始

-被災者の健康課題の把握-

プレハブ仮設住宅及び公営住宅等への入居に合わせて保健師等による全戸訪問を実施した。

- ・8月、浸水区域から避難し民間賃貸住宅に居住する被災者世帯対象に市職員による訪問調査を実施した。

他区域の被災者については、9月に郵送による世帯状況調査を実施した。

- ・調査票等に基づき、健康支援を要する世帯へ保健福祉センターの保健師等による戸別健康相談を実施した。

-仮設住宅における歯科保健活動-

- ・プレハブ仮設住宅の集会所や地域の市民センター等で健康相談会や健康講座を開催し、歯科衛生士が被災者の歯科保健相談に応じている。
- ・保健福祉センターで作成した健康情報誌を毎月戸別配布する際に、歯科衛生士が保健師及び看護師に同行して、入居者の歯科保健状況の把握と相談に応じている。
- ・宮城野区・若林区・太白区の応急仮設住宅入居者や津波被災地区居住者向けに発行している震災復興情報誌「みらいん」1月号に歯科保健情報を掲載し、歯科疾患予防に係る啓発と訪問事業窓口の周知を行った。

健康ナビ

口腔ケア

お正月にお餅を食べた後、いつもより喉の飲み込みが大変ではありませんでしたか？ もしも、食したものを飲み込む力が落ちてしまっているからか、お口と誤嚥性肺炎を誘発するところがあるのでは？

解説 高齢者が多い誤嚥性肺炎

誤嚥性肺炎は、歯周病、歯肉炎、歯槽膿漏などが入りこみ、口の中を汚すことで、お口の奥に細菌が繁殖し、それが肺に入り込むことで起こります。お口の清掃不足や、歯みがき不足、うがい不足、お口の乾燥などが原因です。また、食後すぐにはお水を飲むと、お口の乾燥を招きます。お口の体操や、歯みがき、うがい、お口の体操などで、お口の清掃を徹底し、お口の乾燥を防ぎましょう。

予防法 誤嚥性肺炎の予防

湿度を低下させ、温度が下がるとお口の粘膜が乾燥しやすくなります。お口の乾燥を防ぐために、お水をこまめに飲み、お口の体操などで、お口の清掃を徹底し、お口の乾燥を防ぎましょう。

(みらいん1月号「健康ナビ:口腔ケア」発行部数8,000部)

仮設住宅等における歯科保健活動(口腔ケア啓発・健康相談・戸別訪問)											
6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
4	177	200	230	260	839	515	8,632	603	548	12,008	

※うち個別歯科相談・訪問相談実施:322件

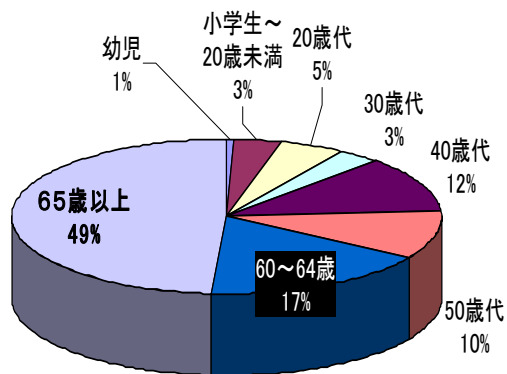
-歯科保健活動から見てきた被災者の状況-

- ・日中は高齢者が多く、徒歩でいける距離に歯科医院がある仮設住宅では、受診中の方も多くみられた。
- ・一方、震災前から未処置歯が多数あったと思われる入居者も多く、受診勧奨するも「かかりつけ歯科医がいる、治療の必要がない」等の理由で受診に繋がらない方もいた。

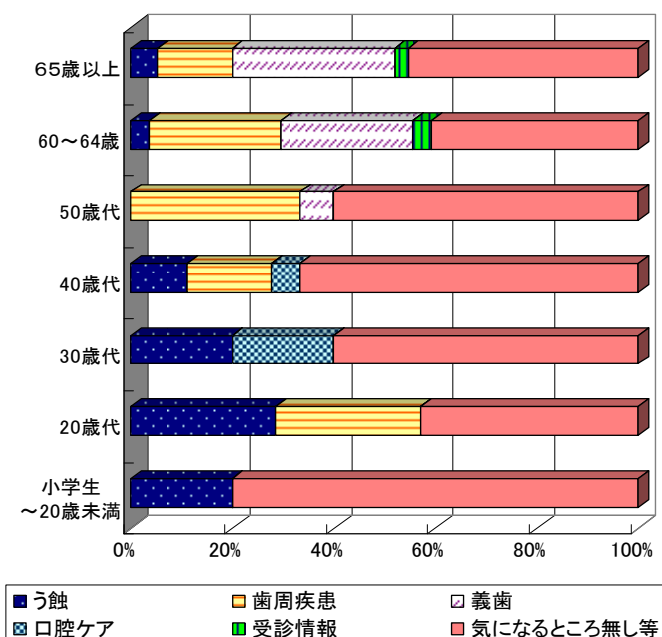
保健師や看護師等との連携を図りながら、被災者との信頼関係を築き、継続支援を行うこととしている。

-歯科保健相談の実施状況 平成24年3月現在-

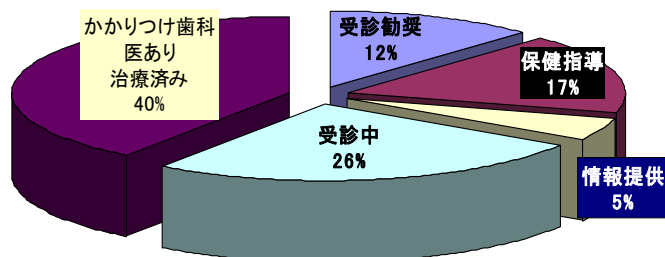
対象者の状況



歯とお口の困りごと



相談対応結果



○今後の対応

■復興期に予測される課題に対応した継続支援

震災前の生活環境と異なる仮設住宅での生活で、高齢者や要支援者は精神的ストレスや体力・免疫力低下による誤嚥性肺炎等の呼吸器疾患を起こす危険性が増すことが予測される。

被災者の状況に応じた訪問口腔ケア活動や歯科疾患予防の啓発を継続的に行っていく。

■地域医療関係者及び生活支援を行う関係機関団体等と連携した支援

8割を占める民間賃貸住宅は市内に点在しており、健康問題が潜在化しやすいことから、地域医療関係者や被災者の生活支援を目的とした団体と連携を図り、歯や口の健康に問題を抱える被災者が早期に相談や医療に繋がるような取り組みを行っていくこととしている。

仙台市の歯科保健活動の概要（平成 23 年度実績）

発行 仙台市健康福祉局保健衛生部健康増進課

平成24年7月

〒980-8671

仙台市青葉区国分町三丁目7番1号

電話 022-214-8198